

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 2 区分

【発行日】平成 26 年 7 月 24 日 (2014.7.24)

【公表番号】特表 2012-527438 (P2012-527438A)

【公表日】平成 24 年 11 月 8 日 (2012.11.8)

【年通号数】公開・登録公報 2012-046

【出願番号】特願 2012-511329 (P2012-511329)

【国際特許分類】

A 6 1 K 31/4458 (2006.01)

A 6 1 K 31/445 (2006.01)

A 6 1 K 45/00 (2006.01)

A 6 1 P 9/04 (2006.01)

A 6 1 P 43/00 (2006.01)

C 0 7 D 211/12 (2006.01)

【 F I 】

A 6 1 K 31/4458

A 6 1 K 31/445

A 6 1 K 45/00

A 6 1 P 9/04

A 6 1 P 43/00 1 2 1

C 0 7 D 211/12

【誤訳訂正書】

【提出日】平成 26 年 6 月 3 日 (2014.6.3)

【誤訳訂正 1】

【訂正対象書類名】特許請求の範囲

【訂正対象項目名】全文

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

ペルヘキシリン、またはこの薬学的に許容される塩を含む、H f n E F (正常左室駆出率を伴う心不全) 治療薬。

【請求項 2】

前記ペルヘキシリンが薬学的に許容される塩の形態である、請求項 1 に記載の H f n E F 治療薬。

【請求項 3】

前記ペルヘキシリンがマレイン酸塩の形態である、請求項 2 に記載の H f n E F 治療薬。

【請求項 4】

前記正常左室駆出率を伴う心不全が 50% 以上の左室駆出率によって特徴付けられる、請求項 1 ~ 3 のいずれか 1 項に記載の H f n E F 治療薬。

【誤訳訂正 2】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0013

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0013】

本発明の実施形態において、ペルヘキシリンは塩の形態、好ましくはマレイン酸塩の形

態で存在する。ペルヘキシリンは、治療的な、しかし非毒性の血漿ペルヘキシリンレベルを達成するために合わせた投与量で用いることができる (Kennedy JA, Kiosoglous AJ, Murphy GA, Pelle MA, Horowitz J D. "Effect of perhexiline and oxfenicine on myocardial function and metabolism during low-flow ischemia/reperfusion in the isolated rat heart", J Cardiovasc Pharmacol 2000; 36(6): 794 - 801)。通常 of 患者に対する典型的な投与量は、1日当たり 100mg ~ 300mg であるが、ペルヘキシリン代謝が遅い患者には、より少ない投与量が適当であろう。